

PROFILE

黒川さくら

2016年、ボラみみ編集スタッフに加入。2017年3月名古屋学院大学卒業後、青年海外協力隊に参加。8月より日本語教師として中華人民共和国黒竜江省にあるハルビン市朝鮮族第一中学へ赴任。2019年7月までの約2年間、同校の中高生に日本語及び日本文化を教える。



中国のテーブルに幸せあり苦笑あり

中国はとても広く、北と南で食べ物の好みも違うと言います。私の活動先は、中国最北端の黒竜江省ハルビン市です。彼らは濃い味を好み、一皿もとても大きく、大勢で食べるためにできているような料理がたくさんあります。初めてここに来たときは、テーブルに乗りきれない量にびっくりしたものでした。

青年海外協力隊員は基本、配属先が用意した住居に住みます。アパートだったり、ホームステイだったりいろいろです。私の場合、校内の学生寮に一人で住んでいます。他の部屋は、学校から家が遠い高校生が住んでいたり、韓国人留学生が住んでいたりします。まだ中国語も拙く、授業をするのにも精一杯だったころ、もちろん友人を作ることすら難しい毎日でした。そして、平日のお昼は学食で食べ、夜は外食が自炊です。残念ながら、私の部屋にはキッチンがなく、勉強机の上に電気コンロを置いただけの簡易キッチンしか作ることはできません。それでも自炊ができるだけ、有難いと思いました。

そんな中、学校の先生たちは慣れない土地で四苦八苦している私を見て、よくご飯に誘ってくれ、口を揃えてこう言ってくれます。「あなたは娘みたいなものだから、何か食べたいものがあったら言いなさい。一人でなんて、大変だし寂しいでしょ」と。とても嬉しい言葉でした。ご飯に誘える友人もいなかったあの頃、誰かとご飯を食べることがあんなに楽しく嬉しいものなのだと改めて感じました。今では現地の生活にも慣れ、一緒に遊んだりご飯を食べたりできる友人もできたため、少しずつ親離れならぬ先生離れをしてきましたが、それでも先生方に誘ってもらえる食事は今でも格別楽しい時間です。

「吃饭了吗?」この頃は耳にすることが減ってきたと言われるこの言葉は、「ご飯食べた?」という意味です。今では仕事に重さが置かれてきたため、仕事のことを聞くあいさつが増えてきたそうです。しかし昔は、食事が最も重要なことであったため、知り合いに会うとまず「你好」のあいさつではなく、「吃饭了吗」と話しかけたと言います。私の周りでは今もまだそう話しかける人が多く、「还没(まだ)」と答えると「なら今からご飯食べに行くか」と誘ってくれることがあります。そして、ご飯屋さんに着くといろいろ注文してくれます。気付けばテーブルに乗りきれない量の料理が並べられます。日本では、主食とおかずと一緒に食べると思いますが、ここではたくさんのおかずを食べた後に、主食(シメ)を食べることがよくあります。お腹いっぱいになった後の「主食は何食べる?」という問いには、今でもよく苦笑いしてしまいます。どの国へ行ってもそうですが、「たくさん食べなさい」と言われ、ついついニコニコ食べてしまう私は、「ダイエットは帰国してから」とこの言葉を常に抱かずにはいられなくなりました。

次回もまた、こんな日常のひとこまをお送りします。(次回は11月号)



ある日の学食



テーブルいっぱいの中華料理

第49回

企業の社会貢献活動の現場から

隔月で、地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の社会貢献活動を紹介していただいています。第49回となる今回は、中日本興業株式会社です。

子どもたちに「感動の創造」を!

中日本興業株式会社 総務部 本山恵奈

中日本興業は、社会貢献活動として、映画を通じてさまざまな取り組みを行っております。この活動の一つである「よい子の映画鑑賞会」をご紹介します。

心豊かな子どもたちを創造する「よい子の映画鑑賞会」

名古屋駅前にある「ミッドランドスクエア シネマ」と、西春日井郡豊山町のエアポートウォーク名古屋に併設している「ミッドランドシネマ 名古屋空港」にて、児童養護施設の子どもたちに映画文化の良さを伝えるべく始めました「よい子の映画鑑賞会」も今年で5年目の開催となりました。アニメ映画を中心に上映を行い、上映前のワクワク感、そして上映後の感動とキラキラした瞳がとても印象的な活動となっています。

当社の社にはある「感動の創造」を念頭におき、毎年多くの子どもたちがスクリーンを通して映画に触れることで、心の中に感動が生まれ、心豊かな人間になってもらうことが、我々の使命であり、社会貢献活動の一つと考えております。

今後も映画の分野で社会貢献活動を末永く続けられるように努めてまいります。



中日本興業株式会社
名古屋市中村区名駅4 5 28 桜通豊田ビル10階 TEL: 052 551 0274

..... 次回は、株式会社ナゴヤキャスルをご紹介します。

新団体紹介

隔月で、設立1年未満の団体紹介をしています。NPOやボランティア活動がより身近に感じられるよう、様々な分野の団体を取り上げていきます。

一般社団法人 なごやメディア研究会

団体設立	代表者	連絡先	活動分野
2018年6月20日	関口 威人	E-mail: info@nameken.jp.org	文化 / 情報化社会 / まちづくり

活動目的
メディアを取り巻く環境が激変する中で、名古屋エリアのライターやカメラマン、編集者らが次の戦略を深く、ゆるーく研究すると共に、メディアに関心を持つ方々との交流を促して地域の情報発信などに貢献します。

団体PR
2016年から「なメ研」の略称でささやかに活動してきましたが、より公益的な団体として親しんでもらおうと法人化しました。月1度のペースで開く例会では、ジャーナリストや写真家、アナウンサーなど多彩なゲストを招き、手づくりのリラックスした雰囲気です。「マスメディア」だけでなく「これからのより身近で多様なメディア」のあり方について語り合っています。ぜひ気軽にご参加ください。

活動内容
(1)メディアをテーマにした例会の開催
(2)個人の取材活動に対する支援
(3)メディア関係の講座や教室への講師派遣

例会の設営や会計の補助などをしてくださるボランティアを随時募集しています。 担当者:関口・三浦